

ALL for ONE

意 志





野津 基弘
日本カバヤ・オハヨーホールディングス 代表取締役社長

『意志を以って、やり遂げる!!』 『意志を貫くから、“業績”が上がる!!』

グループ合同入社式

新入社員のみなさん、改めまして入社おめでとうございます。
今年度は、コロナ禍で実施できていなかった2020年度・2021年度入社の方を含め、
3年分のグループ合同入社式を開催することができました。
直接皆さんの顔を見てお祝いの言葉を伝えたいと願い、
ギリギリまで議論に議論を重ねた上で、開催する!と意志を貫いた結果、
3年越しのグループ合同入社式でその願いが叶い、私も嬉しかったです。
短期間であるような素晴らしいグループ合同入社式を開催してくれたHLDGSメンバーには心から感謝しています。
ありがとう!!
入社された皆さんには、グループ約3,000人の仲間とともに、
役職、部署関係なく、お互いに切磋琢磨しながら歩んでほしいと思います。

理想とは…問題・問題意識から生まれている

我々には、『事業は人なり』という想いをもとに創られた『私の約束』という理想を実現するための判断基準があります。
『私の約束』は、皆さん一人ひとりが幸福であることを求めており、
あなたの幸福の追求が、家族、会社、日本、世界の発展につながることを示しています。

あなたが心から実現したい理想は何ですか？
理想を持つには、自分自身と徹底的に向き合い、まず自分を知ること。
自分が自分の一番の理解者となり、自分自身を肯定すると、
ムカついたり、「いやだ!」と思ったり、「許せない!」と感じる問題に多々出くわす。
個々の問題の中に共通項が見つかり、なぜ共通するのかを深掘りすることで問題の本質が見えてくる。
問題の本質を自ら解決しようとすると、単なる問題解決ではなく、人間性の本質に迫った理想になり、
それがあなたの意志となる。

理想・意志を貫こうとするから…問題を解決する。
問題を見逃せば…理想は遠ざかる。
理想を持つには、問題を探ること。
それを解決すれば、理想の実現に近づくことになる。
だからこそ『問題は宝物!』。
理想を求める気持ち、問題を根底から解決する…その強い心が宝物となる。

意志を貫くためのコミュニケーション『摩擦上等 !!』

『意志を以って、やり遂げる』

まず、「ホンマにこれでええんか?」「もっとええのないんか?」と自分の中で弁証することから始まる。

理想を追求するからこそ、意志を貫く。意志を貫こうとすると、必ず人とぶつかる。

意志と意志のぶつかり合い。…『摩擦上等 !!』

そして、多様な意志がぶつかることで『ジンテーゼ』に出会える。

これが本来のコミュニケーション。

コミュニケーションとは、意志を持つ人がいて初めて成立する対話なのです。

人と人との信用・信頼とは、言うことを聞いてくれる人に対してではなく、

自分の意志を明確に持っている人同士で成り立ちます。

意志なく会話をしているとしたら、それはコミュニケーションではなく、「チャット(チャットティング、単なるお喋り)」です。

相手に迎合し、調子を合わせている限り、信用・信頼に足る関係にはならない。

本音・本心で意志を貫いているからこそ…信用され、信頼され、尊重し合い、頼られる存在になります。

これこそが、『心をひらいて、人とつながる』。

人が善くなるための指摘。

『いいモノはいい! ダメなモノはダメ!』は言わなければならない。

善くなるためなら、摩擦を起こしてでも貫いて、最善を尽くしてほしい。

意志を貫くから、“業績”が上がる !!

年齢・立場・役職とは、人としての上下を決めるモノではなく、役割・責任・決裁順位である。

社内であろうが、ステークホルダーであろうが、相手が誰であろうと…

・礼儀と道理を以って、『いいモノはいい! ダメなモノはダメ!』と言う。

・相手の判断に納得できなければ、その理由を聞き、お互いが納得できるまで議論する。

・自ら『心をひらいて、人とつながる』本音で話し合える関係性を築く。

つまり、心をひらいた者同士が意志をぶつけ合い、『ジンテーゼ』を導き出し、

積み上げ、実践し続けた結果と検証の連続が“業績”です。

これらを実践することで、自分自身やチームは成長し、“業績”が上がる。

これこそが、理想を実現するための日々のステップである。

一人ひとりが、意志を貫くために『自分で考えて、決めて、行動し、結果を検証し、卓越する』ことが、

グループ方針『キャッシュ最大化=人物力最大化』につながるのです。

人生と仕事は区別しない !!

自分の卓越性の卓越を求めるならば、

あらゆる瞬間に於いて『気付く』ことが極めて重要である。

人生から仕事につながる瞬間もあれば、仕事から人生に於いて重要だと『気付く』瞬間もある。

『気付く』量を積み重ね、質を高めてほしい。

「終わる」と「やり遂げる」とは違う。

終わらせる人は、思考することをやめてしまう。

やり遂げる人は、終わった後さらに「もっと善くするにはどうすればよいか!?!」

命尽き果てるまで、学び続ける覚悟をもっている。

『意志を貫き、やり遂げる !!』

『意志を貫くから、“業績”が上がる !!』

それがあなたの幸福につながる。

失敗を恐れず挑戦し、強靱な企業体質になる。



2020年度・2021年度・2022年度 日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ グループ合同入社式

PROGRAM プログラム

～グループ合同入社式～

2020年度卒業式

オープニングムービー

国歌斉唱

基弘さん歓迎の詞

来賓祝辞

新入社員代表誓詞

スペシャルゲストライブ（柴山サリーさん）

～研修～

社長講話

ヨガ

『私の約束』研修

グループ各社事業説明



▲2020年度卒業式

コロナ禍で卒業式ができないまま社会人になった2020年度入社の社員に向けて「卒業おめでとう」ムービー。思わず涙ぐむ人も。



▲オープニングムービー

グループのあらゆる拠点から届いた、入社を祝福&歓迎するビデオメッセージ。先輩たちからの温かいメッセージに笑顔が溢れました。



▲新入社員代表誓詞（2020年～2022年）

3ヵ年それぞれの代表が、入社式を迎えられた喜びと今後の決意を力強く宣誓しました。



◀スペシャルゲストライブ

柴山サリーさんによるサプライズライブ。これからの社会人生活を共にがんばろうという想いから『負けないで』などZARDの楽曲が披露され、大盛況でした。

グループ合同入社式について

北山 政成 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 人事戦略室(現:秘書室 室長)



2020年度・2021年度・2022年度のグループ合同入社式を4月1日にコンベックス岡山にて開催しました。コロナ禍で、学生から社会人になるという人生にとって大切な節目を実感できず、周囲から祝福される機会を失っている仲間のことを真剣に考えた時、「我々の仲間になってくれた皆さん全員の入社式を必ず開催する!」と決めました。開催テーマ・時期・運営方法など直前まで議論を重ねたものの、感染拡大で断念する…ということは何度も繰り返してきましたが、発案から1年以上が経過し、ようやく実現できました。

今回の二大テーマは、「つながる」・「人生の節目を祝福する」。同期はもちろん、3カ年の仲間、現場の上司や先輩、そして『私の約束』とつながってほしい、という

想いから、年度ごとに行うのではなく、グループ3カ年の入社式を合同で開催しました。また、グループ各社の上司や先輩社員からいただいたビデオメッセージを流したり、特別ゲストを招きサプライズライブを開催するなど、例年とは大きく内容も変更しました。紆余曲折があり、発案から開催まで時間がかかってしまいましたが、意志を以って、貫いた結果、たくさんの人からの協力を得ることができ、入社式をやり遂げることができました。ご協力いただいた皆さんには、心から感謝しています。

新入社員の皆さん、これから様々な問題にぶつかると思いますが、どんなときでも自ら「心をひらいて、人とつながる」を実践してください。皆さんの活躍を応援しています。

入社式 参加者の 感想

印象に残った「最終評価者は自分」

入社式で特に印象に残っている言葉は基弘さんの「最終評価者は自分」です。頂いた言葉の通り、自分のありたい姿に向け、妥協せずやり抜き、理想を実現します。その姿を以って、頂いた祝福と期待に応えていきます。

大野 真弘 (2021年入社)
オハヨー乳業
東京支店 営業二課

考えや方針聞け良かった

入社2年後でしたが入社式に出席でき、グループの考えや方針を直接聞け、このような機会があった良かったです。普段集まることのない人達と会え、楽しむことができました。

大野 紫音 (2020年入社)
ライフパートナーイケア 広島店

仲間とともに気持ち新た

画面越しではなく、直接見て、聞いて、感じられたことが一番良かったです。改めて仲間とともに頑張っていくと気持ちを新たにすることができました。

戸川 真里 (2020年入社)
リンク&リンケージ
PSI事業部 チルド需給課

グループの活気感じた

合同入社式ではグループ会社ならではの活気を感じ、改めて入社できたことを誇りに思いました。また、基弘さんの「責任を持つ=自由になる」というお言葉を念頭に置き、自身の社会人人生をより豊かにするためにお客様・会社に対して責任を果たしていきたいです。

藤尾 健太郎 (2021年入社)
ライフデザイン・カバヤ
営業部 RSKハウジングプラザ展示場

仕事への姿勢考え直すきっかけに

合同入社式に参加したことで、仕事に対する姿勢を考え直すきっかけを得ました。より明確な目標を持って業務に取り組んでいこうと思います。

山田 真彩子 (2021年入社)
エクセルバック・カバヤ 企画営業部

貢献したい想い強まる

ONE for ALL, ALL for ONEの気持ちを大切に、自分自身が成長し、グループと東京レジャー開発の一員としてザ・ロイヤル ゴルフクラブに貢献したいという想いが強くなりました。

片桐 小次郎 (2022年入社)
東京レジャー開発
ザ・ロイヤル ゴルフクラブ

頑張る気持ち湧いた

先輩方との合同入社式。華やかな演出で歓迎して頂き、「私の約束」を全員で読み上げた際には、「今日からグループの一員として頑張るぞ!」という気持ちが湧いてきました。心に残る入社式をありがとうございました。

北 有里乃 (2022年入社)
カバヤ食品 岡山営業所

グループの雰囲気感じた

私達新入社員のために盛大な入社式を開いていただきありがとうございました。3年分の入社式が一緒に行われたことで先輩方の様子も拝見することができ、式を通してグループ全体がとても良い雰囲気だと感じ、より一層会社の一員として働くのが楽しみになりました。

森田 彩依有 (2022年入社)
オハヨーバイオテクノロジー
プロフェッショナルマーケティング課

NEW FACE 2022

2022年 新入社員

ホンモノは、おいしい。
OHAYO

オハヨー乳業



アオヤマ ユウキ
青山 悠紀
(東京都)
お笑い鑑賞、旅



アサカワ サラ
浅川 さら
(茨城県)
料理



イケダ ケイチロウ
池田 喜一郎
(茨城県)
読書、スポーツ



イシイ カズキ
石井 一樹
(岡山県)
アニメ鑑賞



イチムラ リョウト
市村 凌都
(茨城県)
読書



イマイ ハルト
今井 遥斗
(岡山県)
楽器演奏



イマイズミ ケイスケ
今泉 慶亮
(茨城県)
家庭菜園、革靴の収集



ウシクボ シンタロウ
牛窪 真太郎
(神奈川県)
美味しいものを食べる



エビナ マサトシ
蝦名 柁寿
(茨城県)
絵を描くこと、漫画を読むこと



オザキ ハレナ
尾崎 晴奈
(岡山県)
運動、特にバスケットボール



カトウ フミヤス
加藤 史泰
(東京都)
ボードゲーム、釣り



クスハラ イヅミ
葛原 和泉
(岡山県)
音楽鑑賞



クヤマ アユム
久山 歩
(岡山県)
音楽鑑賞



クロダ イブキ
黒田 威吹
(茨城県)
バスケットボール



コウモト カンタ
河本 勘汰
(岡山県)
バレーボール、ソフトボール



ササキ クレハ
佐々木 紅羽
(茨城県)
出かけること、買い物



ゼンボ シュンヤ
善南 隼也
(広島県)
ランニング、漫画



先輩メッセージ

中村 奏太

オハヨー乳業
関東第一工場 ヨーグルト処理係
(2020年入社)

できること見付けて挑戦を

入社おめでとうございます！
最初は不安なこと、慣れないことだらけだと思いますが、自分にできることを見付けてなんでも挑戦してみてください。
きっとたくさんの先輩が助けになってくれるはずです。お互い頑張っていきましょう！



タカエス ケイゴ
高江洲 圭吾
(岡山県)
ドライブ、映画鑑賞



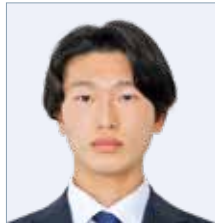
タカオ シンペイ
高尾 晋平
(岡山県)
スポーツ、球技



タカキ ヒロム
高木 大夢
(岡山県)
お笑い番組視聴



タカダ ネオ
高田 稔央
(茨城県)
漫画を読むこと



タカダ リョウキ
高田 涼心
(茨城県)
サッカー



タカヤナギ ソラ
高柳 大空
(茨城県)
いろいろな映画を見ること



ナガヤマ カイト
永山 海斗
(茨城県)
サッカー観戦



ナヤ ハルナ
納谷 遥南
(神奈川県)
音楽鑑賞、ドライブ



ニザワ テヒロ
仁澤 千尋
(岡山県)
アニメ鑑賞、散歩



ハナモト トワヤ
花本 尊哉
(岡山県)
散歩



ヒヤマ ライト
桧山 来斗
(茨城県)
映画鑑賞



フジサキ カント
藤崎 栞人
(愛媛県)
プロ野球観戦



ミヤタ キョウスケ
宮田 恭輔
(兵庫県)
読書、料理



ムラカミ シュンタ
村上 俊太
(広島県)
映画鑑賞、スポーツ



ヤタベ ナオキ
谷田部 直樹
(茨城県)
音楽鑑賞



ヤマモト カヅキ
山本 薫月
(岡山県)
音楽を聴くこと



ヤマモト マユカ
山本 茉佑佳
(茨城県)
ゲーム、読書



ワダ ヒロキ
和田 浩輝
(熊本県)
釣り



カバヤ食品



アオト タイヨウ
青戸 太陽
(茨城県)
プラモデル作り



アキヤマ シズネ
秋山 静音
(神奈川県)
音楽



エビハラ サキ
海老原 早希
(千葉県)
映画鑑賞



オオタカ カエデ
大高 楓
(茨城県)
アニメ



キタ ユリノ
北 有里乃
(兵庫県)
料理



シモ アヤカ
志茂 彩香
(岡山県)
漫画



ノナカ シュント
野中 竣斗
(東京都)
テニス、野球



ババ トモヤ
馬場 智也
(神奈川県)
サッカー



ハラダ ソウガ
原田 颯河
(岡山県)
ゲーム



ヒガシ リュウノスケ
東 龍之介
(千葉県)
映画鑑賞



マツザキ キヨ
松崎 貴世
(滋賀県)
美味しいもの巡り



ミハラ クルミ
三原 久瑠美
(岡山県)
折り紙



先輩メッセージ

霜山 夏帆

カバヤ食品
営業本部 西日本エリア戦略部
中四国支店 岡山営業所 営業課
(2019年入社)

お菓子で笑顔届けよう

入社おめでとうございます。これから新たな出会いや挑戦をする中で、時には不安になることもあると思います。そんな時は私たち先輩社員が精一杯支えます！カバヤのお菓子と一緒に笑顔を届けましょう！



ミヤハラ マユ
宮原 舞優
(東京都)
読書



ムラヤマ トモカ
村山 友香
(広島県)
楽器演奏、バドミントン



モリ ナツミ
森 奈都美
(神奈川県)
音楽鑑賞



モリトキ ケイイチ
守時 恵一
(岡山県)
動画鑑賞



ライフデザイン・
カバヤ



アカエダ ハヤテ
赤枝 颯
(岡山県)
野球、ギター



イシガキ アヤナ
石垣 絢菜
(広島県)
韓国ドラマ鑑賞



先輩メッセージ

庄司 剛

ライフデザイン・カバヤ
営業部 課長
(2009年入社)

何事も成長の糧に

入社おめでとうございます！
これから色々な壁にぶつかることもあると思いますが、何事も自分の成長の糧にして乗り越えていきましょう！



イノウエ アサヒ
井上 朝陽
(岡山県)
運動



オカダ カイト
岡田 海斗
(岡山県)
ゴルフ



オカモト ユウダイ
岡本 侑大
(高知県)
お酒、ダーツ



オノダ ケイト
小野田 啓人
(岡山県)
野球、スノーボード



キシモト リョウマ
岸本 遼馬
(兵庫県)
音楽鑑賞



コバヤシ ダイスケ
小林 大介
(広島県)
読書、映画鑑賞



サカグチ ユウタ
坂口 裕太
(兵庫県)
スノーボード、子育て



スキモト ミツル
杉本 充
(大阪府)
サイクリング、読書



タカハシ ミカ
高橋 美香
(岡山県)
スノーボード



タケダ コウキ
竹田 光希
(和歌山県)
ゴルフ



タナカ マユ
田中 麻結
(広島県)
カフェ、昔ながらの喫茶店巡り



デグチ タカト
出口 天斗
(広島県)
テニス、ドライブ



ニシハラ レイヤ
西原 滯哉
(岡山県)
スノーボード、心霊スポット巡り



ノハラ ソウジ
延原 総司
(岡山県)
歌うこと、ギター



ハルナ キョウスケ
春名 恭輔
(岡山県)
テニス



フクモト ユウヤ
福本 裕哉
(長崎県)
お酒、ドライブ



マスダ ユウト
増田 祐人
(香川県)
スノーボード、麻雀



ミウラ マイコ
三浦 舞子
(広島県)
ダンス



ミシマ ヒナコ
三島 日向子
(島根県)
ラーメン屋巡り



ヤブキ イエヤス
矢吹 家康
(岡山県)
筋力トレーニング



エクセル
バック・
カバヤ



イシカワ マサノリ
石川 雅規
(岡山県)
卓球



イワモト リリナ
岩本 莉々菜
(岡山県)
写真を撮ること



カシラジマ コウ
頭島 紅王
(岡山県)
音楽を聴くこと



セノ リア
妹尾 梨愛
(岡山県)
ライブ・コンサート



タカタ ミク
高田 美空
(岡山県)
音楽を聴くこと、ショッピング



先輩メッセージ

桜井 駿

エクセルバック・カバヤ
生産部 印刷課
(2014年入社)

失敗は経験値

まずはチャレンジ！失敗は経験値です。
必ず挑戦した経験は自分の身になります。
失敗しても上司、先輩が必ずフォローするので共に頑張りましょう！



ネキ シュンヤ
根木 俊哉
(岡山県)
絵を描くこと



ヨコタ シホ
横田 汐保
(岡山県)
演劇鑑賞



フリガナ
氏名
出身地
趣味



東京
レジャー開発



カタギリ コジロウ
片桐 小次郎
(茨城県)
ツーリング、ドライブ



ツボイ ユウナ
坪井 優奈
(茨城県)
音楽鑑賞、ぬいぐるみ収集

OHAYO
BioTechnologies

オハヨーバイオ
テクノロジーズ



モリタ サエリ
森田 彩依有
(埼玉県)
キャンプ、釣り



先輩メッセージ

土子 ちひろ

東京レジャー開発 ザ・ロイヤル ゴルフクラブ
フロアマネージャー (2009年入社)

志を胸に大いに活躍を

入社おめでとうございます！
あまり気負わず、入社を志した原点を胸に
日々取り組んでください。大いに活躍して
くれることを期待しています。



先輩メッセージ

尾崎 実樹

オハヨーバイオテクノロジーズ ブランドマーケティング課
(2021年入社)

知識、経験、人脈は宝物

商品やサービスの一番のファンになろう！
その魅力や価値を1人でも多くの方に届ける
ために一緒に良いサービスを提供してい
きましょう。知識や経験、人脈は宝物です。

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

Information

穴井 哲郎 Tetsuro Anai

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 執行役員
カバヤ食品 専務取締役



もう30年以上も前の話です。工学部を卒業した私は、日本の技術で途上国のインフラ整備を進め世界を救うのだ!との熱い思いを胸にエンジニアリング会社へ入社致しました。漠然としたモノでしたが、学生時代からずっと、自分の力で社会に貢献したいと思い続けて来ました。その会社が成長することがそのまま社会への貢献に繋がる、それを実感できる、そんな会社で働きたいと願い続けてきた訳です。

入社後、インドの山奥にある石炭焚き火力発電プラントの担当となり、右も左も分からないまま、下痢と嘔吐と発熱を繰り返す過酷な出張を繰り返していました。只々がむしゃらに走り回る5年間であり、社会の厳しさを痛感することになりましたが、同時に仲間と働く楽しさも覚えた時期でした。

その後、更なる試練を求め外資系の日本コカ・コーラへ転職し、経営企画を中心に多くの部署を経験致しました。結局20年以上在籍しましたが、まさにダイバーシティを体現した種々雑多な人々が入り乱れるグローバル企業であり、良くも悪くも非常にユニークな多くの人と出会う事が出来ました。多様性を認め合う事で異なる卓越した力の集結が可能となり、イノベーションを生み、新たな価値創造へとつながる事を体感致しました。コカ・コーラを卒業後は、民事再生を受けた長野の企業、更にUCC上島珈琲で社内改革の仕事に取り組みました。

そんな中、カバヤ・オハヨーグループに出会う事となりましたが、入社を意志を固めたのは『私の約束』の存在でした。そこに書かれていた内容は、今まで自分自身が目指してきた「自分の理想の実践

が、会社を成長させ、社会への貢献に繋がること」とリンクしており強い共感を覚えました。全ての表現が明快で具体的であり、日々の実務に直結したモノであると感じられ、今まで多くの企業メッセージを見てきましたが、これ程明確に会社の意志を感じたものはありませんでした。

グループの一員となった今、ようやく願ってきた環境、企業に巡り合えたと感じています。我々が世に提供できる価値は、製品やサービスそのものを通して感じて頂く直接的な物質的価値ではありません。製品を超えたレベルでのエモーショナルな価値をも人々へ提供する事が出来る企業であると考えています。広告・クリエイティブを見て頂いて“カッコいいなあ”と感じる・クスツと笑う・ニンマリする・ほっこりとした気持ちになる、プロモーションでプレミアムをゲットし“やったー”と小さな感動を覚える、工場見学に参加し製造に関するちょっとした知識を身に着け知的満足感を得る等々、全ての活動が価値提供へと繋がっています。

カバヤに触れ、カバヤを体験して頂く事により、多様な価値を感じて頂き、日々の生活をより豊かにすることが出来ると考えています。更なる価値創造を目指し、皆さんと会社と共に学び、共に成長したいと思っています、どうぞよろしくお願いいたします。

小さいころからアウトドアが好きで夏も冬も山へ行っています。家族で出かける事もありますが、大学生の息子は、彼が小学生の時に家族での阿弥陀・赤岳縦走を強行して以来、すっかり山嫌いになってしまいました。



中四国チルド共同配送センター始動

石邨 貴久 リンク&リンケージ 専務取締役

「需給」起点の新しい時代の物流構築 見据えるのはBtoCの仕組みづくり

リンク&リンケージ（L&L）は、岡山市南区箕島の名糖運輸岡山物流センター内に「中四国チルド共同配送センター」を稼働した。前副社長の沖山孝雄からバトンを受け、事業をけん引した石邨貴久に、名糖運輸とのコラボレーションによる新センターの経緯と狙いとともに、事業を通じての「気付き」、描く物流の将来像について聞いた。

旧フジ物流（現L&L）は総合物流のコーワンの協業で、2000年から瀬戸内市長船町で旧中四国チルド共配センターを運営してきた。オハヨー乳業の中四国エリアの2次配送のコスト削減と運送の効率化が目的。“工場冷蔵庫”的な位置付けで、当時は関東方面への輸送が多かったため、岡山ブルーライン～山陽自動車道へのアクセスとしては好立地だったが、2014年ごろからオハヨーの売り上げ拡大と共配事業の拡大で倉庫のキャパ不足が深刻化し、対策が急がれることになった。当初はコーワンの倉庫拡張も検討したが用地の問題もあり断念、新たなパートナー探しがスタートした。

意義とメリット伝わり名糖を巻き込む

候補に浮上したのは3社。L&Lとしては、メーカー寄りの立ち位置で、チルドの共同配送という方向性も共通する名糖運輸が第一候補。当初は前向きな返事がもらえず、別の企業と交渉していたところで名糖が名乗りを上げ、2016年10月にパートナーに決まった。

石邨によると、名糖は競合関係にあるL&Lが規模の大きなオハヨーの業務を担う現状を踏まえると、中四国エリアの取扱量を増やすのは難しいとみており、協業の打診も上層部まで伝わらないままいったん断った。しかし、L&Lの考える協業は中四国限定ではなく全国を見据えたものであり、全国展開する両社が「競合」ではなく「協業」し、「川上」からの商品を小売りなど「川下」に届けるメーカー主導ではなく、物流会社主導によるロジスティクスを構築するという理念の共有が名糖を巻き込む決定打となった。

新センター稼働で、岡山での名糖の荷物取扱量は、オハヨーとその他メーカーを合わせて約3倍に拡大。開業に先立ち、L&Lの関西エリアの配送拠点も名糖に変更した。両社は扱う商品カテゴリーが似ているため同じ納品先が多く、それぞれの倉庫から出していた配送便を集約できるようになり、環境対策や効率的な車両配置など「協業が全国に広がればメリットはかなり大きなものになる」という。また、小規模メーカーには難しい全国展開も実現しやすくなり、過疎の進む地域でも都市部と同じ商品を同じ価格で入手できるなど、業界や社会にとっても意義ある挑戦だ。

モノを「運ぶ」から「届ける」に

新センターは単に「モノを運ぶ」のではなく、適正在庫管理をはじめとする製造から配送までという「モノを届ける」視点でのトータルロジスティクスの提案を目指しているのが特徴。特に、需給予測まで提案するチルド共配は業界でも「聞いたことがない」（石邨）というチャレンジ。フジ物流を一時離れ、運送会社向けコンサルタ

ント会社を立ち上げ、課題解決に向き合った沖山の「どれだけ売れるかが分かれば、流通全般の無駄がなくなる」という強い信念が背景にある。メーカーは本来の姿である製品づくりに専念し、業務を請け負う運送会社は平準化された仕組みの中で業務にあたる。そしてL&Lは一気通貫のプラットフォームでビジネスし、自社でトラックを持たない「中小企業の旗頭」となる構想だ。

沖山の構想を初めて聞いた石邨は「中四国エリアで『モノを運ぶ』発想しかなく、驚きというより困惑した」と言う。だが、オハヨー時代から物流に携わった石邨は共配事業の必要性は強く感じており、「Asls（アズイス）でしか物事をとらえられていなかっただけ。実際にやってみると面白さはすぐ分かった」そうで、意識を切り替えるまでにさほど時間はかからなかった。その後、用地取得と開発許可でも苦労したが、用地取得ではライフデザイン・カバヤとのグループシナジーを発揮。開発に当たっては「物流総合効率化法」の適用を受けた。中四国では同法の適用事例が少ないことから手続きに予想以上の時間がかかったが、門外漢の石邨は粘り強く、さまざまな関係者を巻き込むことで実現にこぎ着けた。



意志の強さと人間関係の大切さ学ぶ

石邨にとって沖山はどのような存在だったのか。「一番学んだのは意志の強さと人間関係の大切さ。モノや数字は何とかなっても、人はなかなか動かせない。自分の意志を熱く人に伝えることで共感が生まれ、人と人とがつながり、協力者がどんどん広がる人間関係。（沖山を）間近で見て、その大切さを痛感した」。ストレートな物言いが持ち味の沖山に、石邨自身も当初は「すべて否定から入るので正直反発を覚えた」そうだが、自らの意志をブレずに相手にぶつけ、いつの間にか自分ペースに引き込んでしまう沖山の「人の上に立って、人を動かす力」には舌を巻かざるを得なかった。何より自分がつくったシステムでも、時代に合わないと思えば平気で壊していく様を見て「自分のやったことを否定できる人なら、人に対する厳しい言葉も否定ではなく改善のため」と心酔していった。

自らを省みると、「以前の自分が考えていたのはコストと配送のことだけ。相手の経営戦略などは考えておらず、それでは説得力のある説明になるはずがない」ことに気付いた。メーカーの物流部なら単価を下げる



リンク&リンケージ 中四国チルド共同配送センター

所在地：岡山市南区箕島 1648-1
敷地面積：1万0191㎡ 規模：鉄骨2階（延べ4614㎡）
主要用途：冷蔵倉庫 入庫バス：19
配送エリア：中四国9県と兵庫県西部エリア
運営会社：名糖運輸
設計・施工・監理：ライフデザイン・カバヤ

発想だが、メーカーと運送会社双方の立場を経験した石邨は、「一方の利益ばかり考えていては相手が長続きしない。自分のところはしっかり利益を確保し、業者にも利益を確保してもらうにはどうすればいいか」と視座は着実にステップアップしている。

中四国チルド共配センターはようやく第一歩を踏み出したところ。石邨が現時点で描くゴールは「今のビジネスプロセスはBtoBだが、流通形態は急速に変化しており、eコマースの浸透を考えると将来的にはBtoC。うちに商品を預けるとチェーンや問屋に運べるし、一般消費者にも届けられるというツールをつくること」と描いている。共配システムへの誘致活動、参加する運送会社への統一システムづくりなど課題もあるが、関心を見せる業者は数多い。まずはオハヨーの仕事を通じてデータを蓄積し、外部企業で実績が上がるようになれば理想の実現は一気に進むことになるはずだ。

「仕組みづくり」で沖山を超える

運送業界は3Kの代表的職種の1つとされ、ドライバー不足や労働時間などに関する規制強化など取り巻く環境は厳しい。6万社を超える業界で勝ち抜くためには労働環境を改善し、石邨自身がフジ物流への転籍を内示されたときに感じた「行きたくない」というイメージを変え、従業員が夢を持てる会社になければならない。そのためにも自らの伝える力をさらに磨くとともに、越えてはならない線を示しながら、部下が自由に行動、議論できるよう自身の「幅」を広げる必要性も感じているという。

石邨は「私に沖山さんの代わりはできない。ただ、沖山さんが指し示した共配事業ビジョンを具体的、有益に運用できる仕組みに仕上げることで何としても沖山さんを超えたい。それが恩返しであり、私の役割でもある」と力強く締めくくった。



これが私の生きる道

やるなら楽しく。アイデアは必ず提案 「何事も自分次第」の姿勢を貫き通す

Interview

岩間 絵美 Emi Iwama カバヤゴルフクラブ 副支配人

東京レジャー開発の岩間絵美は、5歳の子どもを育てながらゴルフ場運営を切り盛りする、カバヤゴルフクラブの副支配人。結婚・出産というライフイベントを経て、彼女の仕事との向き合い方はどう変わったのか。生き生きと自分らしく働く人をロールモデルとして取り上げる「これが私の生きる道」の第3弾として、彼女の入社からこれまでの経験を紹介する。

茨城県常陸大宮市出身の岩間は地元の高校を卒業し、2000年にフロント担当として入社。ゴルフ場については「すごく高級」「芝生がきれい」程度の印象しかなかったが、同ゴルフ場に勤務していた友人の母親から誘われ「早く就職を決めて、卒業までの空いた時間で自動車免許を取得しにしよう」と軽い気持ちで就職先として選んだという。

入社後はフロント業務をメインに、ネット予約の料金管理などを担当。カバヤゴルフクラブにとって久しぶりの新入社員でもあり、持ち前の明るさとテキパキとした仕事ぶりから年上ばかりの従業員にかわいがられ、また、ゴルフ場を愛するがゆえ、時には厳しい意見を寄せることもあるメンバーやプレー客からも慕われたそうで、見る見るうちにゴルフが好きになり、仕事にのめり込んでいった。

ゴルフ場という職場について、岩間はプレーを楽しんでもらうのが重要なのもちろんだが、さらに言えば「どうすれば気持ちよくお金を使ってもらえるか」を常に考えるという。データ分析を基に繁閑を予想して料金を設定し、想定通りの結果につながった日や、自分で考えたイベント料金の設定など「戦略」がはまり、かつ「お客様に喜んでもらえるのが一番の喜び」と醍醐味を語る。

育休復帰明けにまさかの展開

彼女の人生設計には、結婚や出産でキャリアを変更する選択肢はなかったそうで、2017年3月に長女を出産し、1年間の育児休暇を経て18年4月に復帰した。育休中も機会をみ

て職場に顔を出しており、メンバーや職場のオペレーションは産休前とほとんど変わらず、「特に不安もなく」復帰を果たしたのだが、予想だにしない事態が彼女を待ち受けていた。

復帰初日に当時の支配人と、勤務時間や担当業務などについて面談した最後に、支配人の退職と、副支配人への抜てきを打診されたのだ。男社会の色合いが強いゴルフ場にあって30歳代の女性副支配人自体が異例のことで、しかも退職する支配人の後任は決まっていなかったため、育休からの復帰明けで実質支配人の役割を担うという劇的な展開だった。



当然、受諾について大いに迷ったのかと思いきや「私は一従業員の時代からいいと思ったことは何でも提案していたし、新しいことを始めるのが好きなタイプ。支配人も『予約管理などやることは変わらないので大丈夫』って言ってくれているし、大丈夫でしょ」。拍子抜けするほど気負いも迷いもほとんどなく、重責を引き受けたという。

実際に勤務し始めると、ベテランスタッフぞろいということもあり現場の仕事は問題なく回せた。しかし、想像以上に大変だったのは1歳になったばかりの子どもの体調のこと。「分かっていたことではあったがここまでとは…」。保育園からの連絡を受けて発熱した子どもを迎えに行き、翌日は仕事を休まざるをえないパターンが毎月のように発生。仕事に悩んで辞めたいと思ったことはなかったが、この時期には「みんなに迷惑をかけて申し訳ないという気持ちが強くなり、『(仕事を)

🕒 一日のスケジュール

5:00	6:30	7:30	8:30	17:30	22:00
起床 至福の1人時間 (ゴルフチャンネル視聴、SNSチェックなど)	子どもの起床、朝食、身支度	登園の付き添い	出社、 メールチェック、電話対応、 予約状況の確認、料金管理業務など	退社、 子どもの迎え、 夕食、入浴	就寝

このまま続けられるのか…」と心が折れそうになったという。

ただ、「私は仕事が好きだし、何より負けず嫌い。だれよりもいいアイデアを、だれよりも早く思いつきたいし、アイデアが浮かぶと試してみたくて仕方ない」というタイプ。頑張り過ぎて一時体調を崩してしまったそうだが、その後は「家事は全然無理しない」と割り切り、仕事への情熱と周囲の理解と協力もあり、ピンチを乗り越えた。

出産を経て変わった時間の使い方

出産を経て最も変わったのは時間の使い方。「仕事に割ける時間は決まっており、いかに効率を上げるか」を意識する。さらに、休日に家族で出かけた先で目にしたイベントやサービスを「ゴルフ場でもやれないか」といつも考えている。主人も似た性格で、よく2人で『仕事のスイッチは絶対オフにならない』と話している(笑)」。職場で働く時間を伸ばせない前提の下で仕事と子育てを両立させるため、仕事とプライベートを区別してしまうのではなく、「意識のボーダレス化」が進んでいるということの証だろう。

彼女が日ごろ大切にしているのが「何事も自分次第」ということ。希望する高校に進むことができず不満を口にし、母親からたしなめられたときの言葉で「物事を楽しくするのもつまらなくするのも自分次第。どうせだったら楽しくしたいし、楽しくするためにどうしたらいいかを考えた方がいい」というのが、「15の春」以来のスタンス。だからこそ自分の考え、アイデアはとりあえず提案するよう心掛けてきたし、後輩たちにも「人から言われたことだけやるのではつまらない。いいアイデアがあれば遠慮なく提案して」と繰り返し伝え、「相談しやすい存在」となれるよう従業員との距離感、雰囲気づくりに気を配る。



成長を実感した部下からの提案

新卒で入社して6年目を迎えた従業員が最近、彼女の言葉の意味を理解し、成長したと感じさせる出来事があったという。サンプリングの依頼を受けた飲料を「どのタイミングで配るか」について議論していたところ、この従業員から「自動精算機の前に人が立って誘導しながら、並行してサンプルを手渡す」ことを提案し、さっそく取り入れた。

今まで上司に言われたことを黙々とこなしていた従業員が、エントランス付近に導入した自動精算機が空いているにもかかわらず、フロントに並んで清算する人が多く、混雑が緩和されないという課題を、サンプルを手渡すタイミングと連動させることで一挙に解決するというアイデア。自らの指導を実践する姿に大きな喜びを覚えた岩間は、「いい提案だと思えば素直に採用するし、その成功体験が従業員にとって喜びであり、成長のサイクルにつながるはず」と確信した様子。

結婚・出産、育休を経て復帰し、「女性が就くポジションではない」と決めつけていた副支配人として仕事と子育ての両立を目指す自身の姿を見てもらい、「後輩たちにとって目標の存在になる」ことが現在の夢。また、副支配人の立場では「常陸大宮のゴルフ場と言えばカバヤゴルフクラブ。あそこへ行けばいろいろやっていて面白いと言わせたい」と、コロナ禍後をにらんでアイデアを温めているそうで、若手社員に向け「私が副支配人を受けたのは、やらずに後悔するよりやって後悔した方がいいと思ったから。何事にもチャンスがあればどんどん挑戦してほしい」とエールを送る。

上司
コメント

佐藤 宅範

カバヤゴルフクラブ 支配人

岩間さんは好奇心が旺盛で、工作中だけでなくプライベートの時間でもアンテナを高く張り、様々な情報を仕入れ、斬新なアイデアを発信してくれます。そのアイデアは、イベント企画やレストランメニューに取り入れることも多く、お客様にも大変喜ばれています。明朗活発な性格&ゴルフ大好き(上手ですよ…笑)で、お客様からも同僚からも慕われる存在。今後は、そのコミュニケーション能力を生かして、人物育成にもますます取り組んでほしいと思っています。

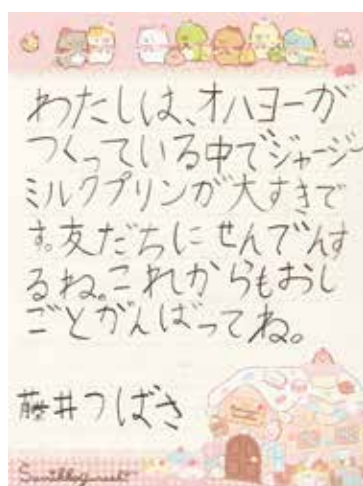
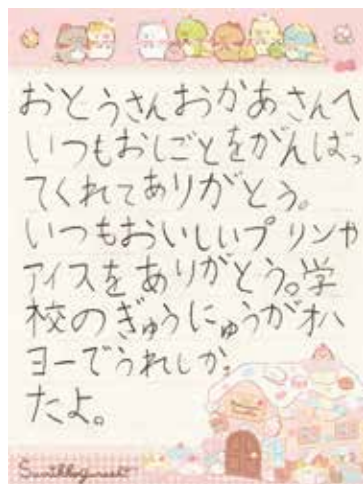


LIFE TIME

仕事も遊びも趣味も学びも恋愛も家族も、まるっと人生!

このコーナーでは、プライベートにスポットを当てて、グループで働くみなさんをご紹介します。

会社で見せる顔とは違った一面が見えるかも!?



長女・藤井 翼沙さん

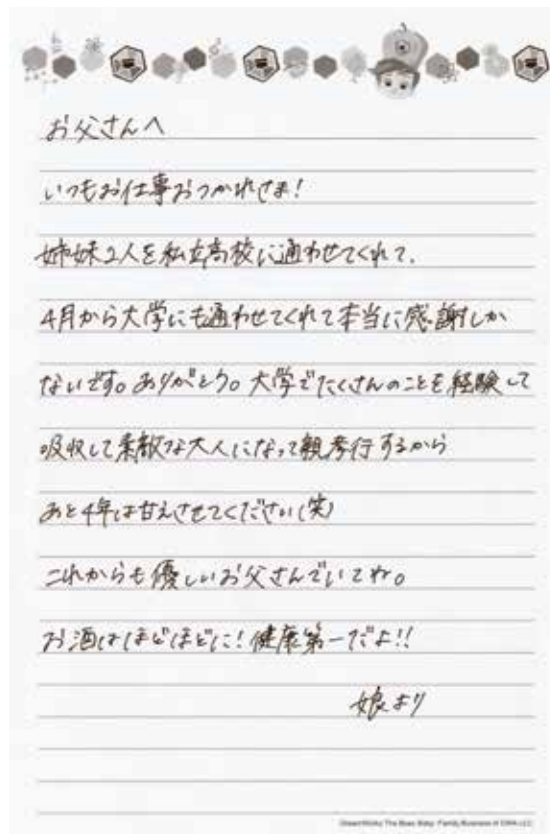
藤井 祐介

藤井 (緒方) ひとみ

オハヨー乳業
研究開発部 基礎研究室



▲手前左が翼沙さん



長女・赤木 穂花さん

赤木 英紀

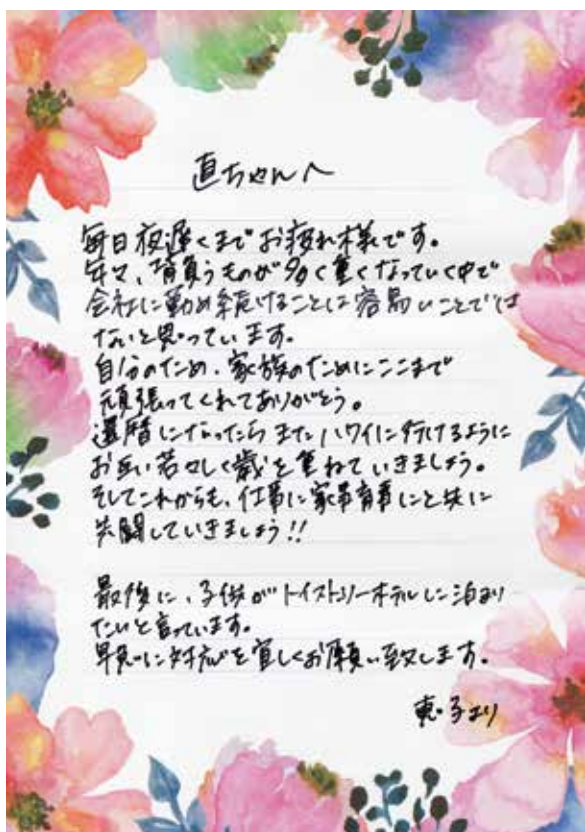
瀬戸内海経済レポート
営業部 次長



▲左から2人目が穂花さん

今回のテーマ
家族からの手紙

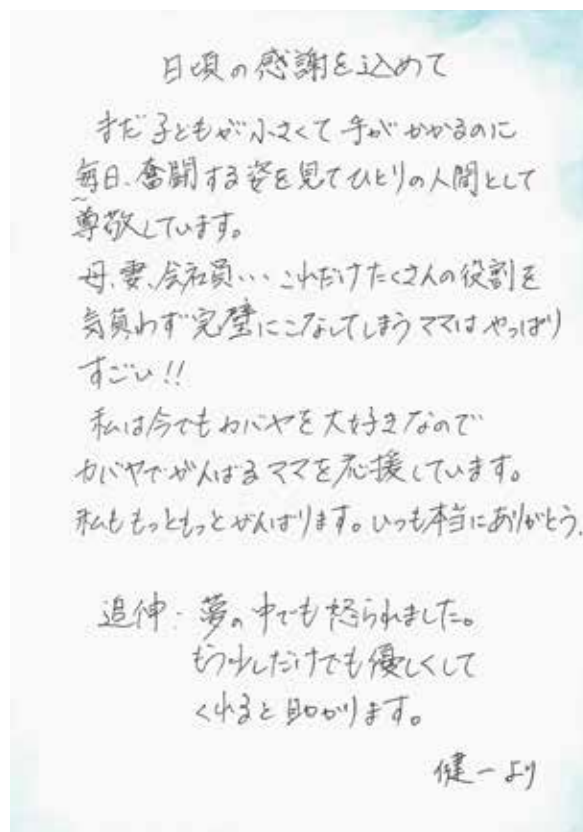
今回はお子さんやパートナーなどグループ社員の家族から直筆の手紙を紹介します。
普段、恥ずかしくて直接伝えられない想いも手紙なら素直に書けるもの。
心のこもったメッセージが集まりました。



妻・坂本 恵子さん

坂本 直基

日本カバヤ・オハヨーホールディングス
社長室 室長



夫・冷水 健一さん

冷水(黒崎) 理沙

カバヤ食品
マーケティング・業務戦略部 チャンネル推進課



MARRIAGES & BABIES

2021～2022年 グループ会社社員の結婚・出産報告

ご結婚おめでとうございます。

MARRIAGES



2021年12月4日

中村（今井）章季世

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 新規事業開発室



2022年2月20日

古川 竜聖

瀬戸内海経済レポート 編集部



2022年2月22日

岡田 涼平

日本カバヤ・オハヨーホールディングス デジタル戦略室

岡田（米田）由芽

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 秘書室

2021年11月12日

林（山名）桃子

カバヤ食品 岡山工場 生産一課 一係

2021年11月21日

小川 真実

カバヤ食品 CVS戦略室

2021年12月3日

大川（井坂）沙織

オハヨー乳業 品質管理部 関東品質管理課

2021年12月25日

大川 魁

ライフデザイン・カバヤ 広島支店 営業部

2021年12月30日

阿相（河野）美紀

オハヨー乳業 関東第一工場 飲料充填係

2022年1月1日

近藤 大輝

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部

2022年1月11日

井上（深井）瞳

カバヤ食品 岡山工場 生産一課 二係

2022年1月11日

藤原 大己

リンク&リンケージ IT事業部 ソリューション部 ソリューション3課

2022年1月11日

和田（原田）夏実

オハヨー乳業
トレード・マーケティング部 チャンネルプラン推進課 ロイテリ担当

2022年1月18日

齊藤 輝

オハヨー乳業 関東第二工場 充填係

齊藤（奥田）千裕

オハヨー乳業 品質管理部 関東品質管理課

2022年2月2日

森本 和浩

リンク&リンクエージ IT事業部 システム開発部 システム開発課

2022年2月17日

早瀬（江田）雅紀

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部

2022年2月22日

中西（佐藤）裕樹

ライフデザイン・カバヤ 総務部

2022年2月23日

中井（上田）紳也

エクセルバック・カバヤ 生産部 紙工課

2022年3月9日

金山 奈津美

ライフデザイン・カバヤ 広島支店 インテリア部

2022年3月9日

田原 章充

ライフデザイン・カバヤ 広島支店 工務部

2022年3月21日

奥村 純基

カバヤ食品 九州支店 営業二課(鹿児島駐在)

BABIES

こんにちは赤ちゃん♪



ヒカル
煌ちゃん

2021年11月10日

高橋 優太

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 工務部



ハルト
日人ちゃん

2021年11月19日

野村 佳弘

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 不動産事業部



ひよりちゃん 2021年11月20日

堺 健太

ライフデザイン・カバヤ 倉敷支店 営業部



シュン
隼ちゃん

2021年11月26日

山田 悠介

オハヨー乳業 関東支店 営業一課



コハル
心陽ちゃん

2021年11月30日

岡本 孝輝

オハヨー乳業 本社第一工場 処理係



ユツキ
結月ちゃん

2021年12月4日

坂本 亜紀子

オハヨーバイオテクノロジーズ ブランドソリューション課
(日本カバヤ・オハヨーホールディングスより出向)



ハルイチ
晴一ちゃん 2021年12月9日
古屋野 裕介
オハヨー乳業 品質管理部 品質管理課



チハ
智葉ちゃん 2021年12月10日
小西 啓介
カバヤ食品 九州支店 営業二課



ウユキ
友門ちゃん 2021年12月28日
小泉 千得
オハヨー乳業 本社第二工場 アイス充填係



チユ
千結ちゃん 2021年12月30日
大平 誠二 大平 裕花
オハヨー乳業 オハヨー乳業
本社第二工場 アイス充填係 本社第二工場 アイス充填係



マサト
雅斗ちゃん 2022年1月1日
松岡 平和 松岡 愛恵
カバヤ食品 カバヤ食品
岡山工場 生産二課 二係 岡山工場 生産二課 一係



ショウヘイ
匠平ちゃん 2022年1月25日
今岡 光平
カバヤ食品 岡山工場 生産一課 一係



タカト
穹柊ちゃん 2022年2月3日
谷本 拓実 谷本 彩香
カバヤ食品 カバヤ食品
岡山工場 生産一課 二係 岡山工場 生産二課 二係



ヒカリ
光莉ちゃん 2022年2月23日
妹尾 圭祐
エクセルバック・カバヤ 生産部 印刷課



ゼン
禅ちゃん 2022年2月24日
宮原 正典
ライフデザイン・カバヤ 岡山支店 営業部



リホ
理帆ちゃん 2022年3月15日
神田 和真
ライフデザイン・カバヤ 福山支店 営業部



カホ
華歩ちゃん 2022年3月21日
村上 倫久 村上 由美
オハヨー乳業 オハヨー乳業
本社第二工場 アイス充填係 品質管理部 品質管理課



アオト
蒼大ちゃん 2022年3月28日
本道 大夢
カバヤ食品 生産管理部 生産管理課

理想を描き、意志を以ってやり遂げればカタチになる。

『私の約束』。それを実現したのが「THE ROYAL JUNIOR」だ。



「世界基準」というコンセプトで2016年から取り組むザ・ロイヤルワールドプロジェクト。世界を、そして、ゴルフ界をより善くするために日本のゴルフ界にアンチテーゼを打ち立てたこのプロジェクトは、この5年で築き上げた小さな蕾が、小さくも花開いた瞬間だ。世界とつながるためには、その業界のトップを抑えるのが1番の近道。ゴルフ界の総本山であるR&Aを巻き込み、動かすことによって、ザ・ロイヤルゴルフクラブで開催された「THE ROYAL JUNIOR」という大会としてカタチになった。

本大会の優勝者は、全英アマ、全英女子アマの出場資格を得る。全英アマとは、かつて世界の4大メジャーのひとつでもあった。ゴルファーの憧れ・夢であったゴルフ発祥の地、英国で輝くタイトルであり、現代でもアマチュアの頂点として存在し続けるR&A主催の大会。本大会はこの世界につながる大会なのである。

「世界で通用する選手になる」ためには何が必要か。それは、理想を以って、世界を知り、自身の現在地を明確にし、世界とのギャップを明らかにする。そしてはじめて今何をすべきかを決めることができる。

日本国内では、ジュニアのみならず、アマチュアゴルファーが直接的に世界の大会に出場できる大会は少なく、優勝者には名誉とプロ資格が付与されるのみの大会が多く、ジュニアゴルファーが世界を知ることができる機会のかぎりなく少ない。若いときから世界を知ることができる機会をつくること、日本のゴルフ界を発展させるため、世界で通用するゴルファーを育てるために必要なことの1つでもある。

機会がかぎりなく少ないのであれば、ゴルフ界をより善くする、世界に通用する選手を育てる。と本気で考えている自分たちがやる。その想いで大会を創り、単に機会をつくるだけではなく、「世界に通用する選手」とは何か。を考え抜き、競技のセッティング、会場の雰囲気づくりなど本格的な舞台を用意し、技術だけではなく世界から尊敬される人格も必要であると考え「礼節と知性 (Courtesy & Intelligence)」を大会のテーマに掲げた。

世界とつながる――。そのためには何をすべきか。そこには、世界のトップとつながり、同じ目的を共有するなかで、理想を掲げ、覚悟と意志を以って諦めずに伝え続けることによって、賛同する人が増え、結果的に世界とつながることができる。ということを実証した大会であった。

第4回岡山子ども未来ミュージカル『ハロルド』



山澤 七海

日本カバヤ・オハヨーホールディングス
ブランディング戦略室

当グループが、岡山の子どもの未来を創るプロジェクトとして歩みを続けている「岡山子ども未来応援プロジェクト」。その一環として2018年からスタートし、今年で5年目を迎える「岡山子ども未来ミュージカル」の第4回公演を3月26日(土)、27日(日)に開催しました。

今年は新たな取り組みとして、従来までの小学2年生から中学3年生までの募集枠を広げ、高校1年生から19歳までの「ハ

イティーン枠」を設定。オーディションには小学校2年生から19歳までの約200名が参加し、59名の子どもたちが選ばれました。公演回数も例年よりも増やし土曜日2公演、日曜日1公演の計3公演とスケールアップ。万全なコロナ対策を行ったうえで、多くの皆さまにご来場いただきました。

出演者の中には、『ハロルド』に出演して、演技をすることの楽しさを知り、将来は俳優を目指すことにしました！来年も絶対にオーディションを受けます！といった声や、観劇された方からも「今後も岡山の地でこの活動を続けていって下さい！毎年観劇していますが、今年が1番でした！」など、着実に岡山でのコアファンが増えていきます。今後も「人物育成こそ地域貢献」をテーマに、岡山の文化となるべくプロジェクトを推進していきます！

岡山情報ビジネス学院

コロナ対策徹底し入学式 497 人が新たな学校生活スタート



今田 美希子

岡山情報ビジネス学院
広報室 主任

専門学校岡山情報ビジネス学院(OIC)の令和4年度入学式が4月12日、ホテルグランヴィア岡山で開かれ、15学科497人が新たな学校生活をスタートさせました。

三村光学院長は、大切にしたいものとして「初志貫徹」、「人間力」、「社会貢献」の3つを挙げ、「予測が困難な時代を自ら考え判断し、たくましく生き抜いていけるよう、専門スキルを

身につけ、自立した大人を目指し精進してほしい」と激励しました。

新入生を代表して医療福祉事務学科の松本真奈さんが「不安定な社会情勢の中でも、自ら考え行動する力を育み、これからの社会の担い手となれるように学校生活を過ごしたい」と力強く誓いの言葉を述べました。最初は緊張気味だった新入生たちでしたが、

在校生からの歓迎の言葉や、教職員からのビデオメッセージに、学生生活への期待に胸膨らませていました。

入学式は新型コロナウイルス感染症の感染拡大

防止のため参加者を制限し、ご家族に対しては動画をライブ配信し、ご参加いただきました。入学式の模様は地元テレビ局が取材し、インタビューにイキイキと夢を語る新入生の姿が放送されました。

新入生の皆さんにはOICでたくさんの仲間と出会い、経験を重ねて、自分の可能性を開花させてもらうことを願っています。入学式は教職員にとっても、一丸となり学生の人生を応援しているという決意を新たにすることができました。また、クラーク記念国際高等学校岡山キャンパス(専修学校自由高等学院)(24人)、希望高等学園(103人)でも入学式が行われました。



オハヨー乳業

焼プリン発売 30 周年 想いや価値発信のブランドページ開設



織田 愛海

オハヨー乳業
カテゴリー戦略部 デザート企画課

1992年、日本で初めて、こんがりとした焼き目が付いた「焼プリン」を発売したオハヨー乳業。妥協することなく追求した結果、構想から発売までに13年もの年月を要しました。

2022年、そんな焼プリンも30周年。30年という節目の年にブランドページを開設しました。焼プリンはオハヨー乳業の看板商品でありながら、ブランドや価値を訴求する媒体がなく、消費者の方々はもちろんグループ社内の方々にも十分にお伝えすることができていませんでした。そのことで新たなユーザーの取り込みができておらず、ファン化の足も滞っていました。そこでこのブランドページを皮切りとして焼プリンの価値を伝え、ファン化を加速させていきます。

ファン作りはまず社内から。ぜひ皆さまにも焼プリンに込められた想いや価値を知っていただきたいと思います。焼プリンの原点や開発にかけた想い、焼プリンのこだわりをしっかりと伝えられるようなコンテンツを作成しています。全体の色調や様式は焼プリンのブランド価値・世界観が伝わるような

「温かみ」「手作り感」などの要素を取り入れています。

お家で工場見学が楽しめるコンテンツでは、焼プリンのこだわりを詳細に紹介しています。オンラインの製造工程紹介は単調になりがちで最後まで見てもらえないことが懸念点でしたが、アニメーションがやみつきになってつい見続けてしまうような作り・見せ方などを工夫し、解消できるようにしています。その他、最新のキャンペーン情報も記載していますのでチェックしてみてください。

また追加コンテンツとして、焼プリン発売までの13年間でまとめた開発秘話マンガを現在作成中です（7月上旬公開予定）。開発者はなぜ焼プリンに着目したのか、どのような意義で取り組んだのか、諦めず妥協せずに実現までこぎつけた信念とは何なのか…。今まで可視化されていなかった焼プリンの原点を分かりやすく、楽しく知ってもらえるコンテンツとなります。近日の公開まで、楽しみにしててください！

カバヤ食品

児童書『ほねほねザウルス』 こどもの本総選挙で9位入賞



廣井 良伸

カバヤ食品
広報室

カバヤ食品の玩具菓子『ほねほねザウルス』が本になっていることを皆さんはご存知でしょうか？2008年より岩崎書店より出版されている、児童書『ほねほねザウルス』シリーズの第1巻、『ほねほねザウルス ティラノ・ベビーのぼうけん』が「第3回 小学生がえらぶ！こどもの本総選挙」（NPO法人こどもの本総選挙事務局 主催）において、

人気の児童書が上位を占める中、9位に入賞しました。

「小学生がえらぶ！こどもの本総選挙」は、「すべてのこどもたちに、本と出会う喜びを」をミッションに掲げ、全国の小学生を対象に、今まで読んだ中で一番好きな本（＝最強の一冊）を投票してもらう企画です。



投票総数は16万8405票に上り、2022年2月11日に結果が発表されました。それに先駆け受賞イベントが行われ、会場には公式アンバサダーとしてお笑い芸人作家の又吉直樹さんも登場。『ほねほねザウルス』からは「ぐるーぷ・アンモナイツ」（著作）のメンバーから、構成・文を担当した大崎梯造さんと原案のドクター・ヨッシー（カバヤ食品）が登場し、又吉さんより賞状をいただきました。

今年20周年を迎える『ほねほねザウルス』のさらなる活躍を皆様も応援よろしくお願いします。



オハヨー乳業

基礎研究室課長 藤井さん 論文の被引用回数でアワード受賞



三宅 俊夫

オハヨー乳業
執行役員 研究開発部 部長

を表彰するものです。この論文は2019年に掲載され、同年日本農芸化学会英文誌のBBB論文賞を受賞しています。

オハヨー乳業の一つの使命は「長く健康で生きたい」という人の本来持つ欲求を、食を通じて実現していくことです。

現代社会で、医療の発展に伴い特に、日本は超高齢化社会を迎え、認知症をはじめ、介護問題などさまざまな問題を抱えています。これまでは、いかに命を繋いでいくという視点に、焦点が当てられ、病気になったら薬、手術などの医療の力を借りて、日本は世界に誇る長寿大国となってきました。しかし、生きるということ、幸せであることをもう一度考えてもらいたいと思います。私たちは、生かされてる状態から、自ら生きている状態へ、そのためには未病という、病気になる前から未然に防ぐという考え方で、心と体を健康にすることのできる“食”を見つめ直すこと、更には体内に潜む“見えない力”菌に着目しています。このような背景から、オハヨー乳業は「医

研究開発部基礎研究室課長の藤井祐介さんが発表した「アルツハイマー型認知症に及ぼす腸内細菌叢の影響」の論文が、2022年3月、BBB Most-Cited Paper Awardを受賞しました。これは、日本農芸化学会の英文誌に最近3年間に掲載された論文の中から被引用回数が最も多い論文

と食のバランスを変える」という一つのテーマを持ち、商品開発、基礎研究を行っています。

藤井さんは、博士（農学）の学位を取得し、岡山大学との共同研究で、2019年投稿の「アルツハイマー型認知症に及ぼす腸内細菌叢の影響」という論文で、食を通じて形成される、腸内細菌叢が、脳の機能に影響

することを明らかにしました。このことは、人の健康に食が大きく関与したことを示しており、更には乳酸菌を代表とする“見えない力”である菌が人の健康に寄与することを明らかにしたことにつながります。まさに「医と食のバランスを変える」ことの実証です。今回その内容について、論文投稿審議でも評価され、更に、この度、研究者の方々からの最も注目された内容ということで賞を受賞しました。今後は、わが社が持つL-55、ロイテリ菌などが、どのような効果をもたらすかにも、追究をひろげていく研究を続けていきます。

このように藤井さんが日々、人のこと、さらに人の健康を考え、業務に当たってくれている事、そして一言では言えない日々の努力の積み重ねが評価されたことを喜びと誇りに思います。藤井さん、おめでとうございます。



オハヨーバイオテクノロジーズ

東京都港区にて高齢者向け「お口からはじめる健康長寿法」セミナー開催



岡田 有珠

オハヨーバイオテクノロジーズ
ブランドマーケティング課

ナールマーケティング課の升本史郎課長がお話ししました。オーラルビューティクリニック白金の副院長である園延妙子先生にもご登壇いただき、歯科医師の観点からも口腔内フローラを整えることの有用性についてご講演いただきました。

特に注目されたのは、高齢者がかかる可能性の高い病気の原因の1つは口内環境ということでした。アルツハイマーや脳梗塞、心筋梗塞などは、歯周病菌によってリスクが高まること

オハヨーバイオテクノロジーズは3月31日、東京都港区にある福祉施設 白金いきいきプラザで、「お口からはじめる健康長寿法」セミナーを行いました。

港区在住の高齢者17名の方に参加いただき、現代の日本の健康事情や、お口からはじめる菌活（バクテリアセラピー）の大切さについて、プロフェッショナル



▲セミナー風景▲



が明らかとなっています。このことをご存じでなく、驚かれた参加者も多くいらっしゃいました。参加者の聴講後アンケート結果でも9割以上の方から満足したとの反響をいただき、これを機会にお口からの健康法を始めたいというお声もありました。参加者の健康意識が高まったように感じました。

年齢を重ねるにつれ、むし歯や歯周病菌により自分の歯が失われている方も多くいらっしゃいます。器具に頼らずに、自分の歯で食事することは心の健康にもつながります。一人でも多くの方の健康寿命が延びるように、私たちの事業を拡げる活動に取り組んでまいります。

ライフデザイン・カバヤ

「広島支店」を拡張移転 広島県エリアで280棟受注を目指す



笹野 陽介

ライフデザイン・カバヤ
執行役員

ライフデザイン・カバヤは、3月26日、広島市西区三篠町二丁目9-7に、「広島支店」を拡張移転しました。

広島市内での受注が増えており、住宅展示場にはない外壁や壁紙などのサンプルを展示し、サービス向上を図るのが狙いです。広島市中心部近くに位置し、鉄道やバスなどの公共交通機関も充実しており、アクセスしやすい立地となっています。

新支店は3階建てとなっており、以前の支店に比べ約1.5倍

(延べ床約370㎡)の広さになりました。事務所内の打合せコーナーはウォールナット調の家具で統一し、落ち着いた空間を演出しています。

今年度は広島県エリアで280棟の受注を目指し、エリア内3つの住宅展示場で協力し合い、広島県エリアでも地域密着の活動で顧客満足を高めたいと思っています。現在スタッフは30名。力を合わせて頑張ります！

オハヨー乳業

包材技術開発課 松井さん 社内初の「包装専士」資格取得



千葉 朋子

オハヨー乳業
研究開発部 包材技術開発課 課長

研究開発部 包材技術開発課の松井幸一郎さんが、2022年3月、オハヨー乳業では初めて「包装専士(CERTIFIED PACKAGING PROFESSIONAL)」の資格試験に合格しました。

『包装専士(食品包装コース)』は(公社)日本包装技術協会が認定する最上位資格で、包装業界最先端の事例を学び、世界的な本流や課題を考え、今後の日本包装業界の発展を担う“包装のスペシャリスト”です。資格保有者は全国で1406名、2021年度の合格者は23名、合格率は57.5%でした。

商品包装はおいしさの維持、お客様に与える印象を左右する重要な要素の一つで、最近は地球温暖化や海洋汚染への関心の高まりから包装による環境への配慮が求められています。包材技術開発課はそれらを考慮し、お客様に支持される商品の開発を担っています。社会情勢の変化、技術の進化と共に、包装に求められる役割が変化しており、それらの情報をいち早くつかむことが必要となります。

松井さんは、取得の意図と今後に向けて、「包装の世界は身近でありながら学問として知る機会が少ない分野でもあります。包装開発に携わる者として『専門的知識と応用』は必要不可欠と考えて今回の取得に至りました。昨今、包装業界を取り巻く外部環境が激しく変化しています。特に環境問題を中心

とした『サステナブル化』に向けては世界共通の課題として幅広い知識や専門性の高い情報収集、社会コミュニティ形成が必要になっています。包装開発を通じて『世界の発展に貢献』できるよう今後も邁進してまいります」と話しています。

松井さん、10カ月間におよぶ研修、課題への取り組み、お疲れ様でした。今後、研修で得た知識、人脈を活かし、新規包材開発、また組織レベル向上にも貢献してもらいたいです。チーム一丸となって、企業ブランドの価値向上を担ってくださることを期待しています。



みっちゃんのおうちごはん

いただきます!

食品メーカーをグループに持つ企業として、従業員の皆さんに身近なところから「食」に興味を持ってほしいという想いで「みっちゃんのおうちごはん」をお届けします。

当グループのシェフであり、フードコミュニケーターでもある光野英世が、心と身体にやさしく、作る人も食べる人もみんなが笑顔になれるような料理レシピをご紹介します。



今回のお料理

カオマンガイ

カオマンガイはタイ料理のひとつで、タイのチキンライスとも呼ばれています。味噌ベースのタレをかけて食べるのが定番ですが、今回は暑い季節にもさっぱりと食べられるよう中華風にアレンジ。レストランのシェフ時代に、みっちゃんが考案した秘伝のレシピです。お家にある調味料で簡単に作ることができ、色々な食材に合う万能タレなので、作り置きもおすすめです。

また、今回紹介したタレレシピにもうひとつ手間加えたさらに美味しい！？ 応用編レシピもあるそうなので気になる方は、是非みっちゃんまで！！

カオマンガイ 材料 (2人分)

ごはん……………	適量	鶏肉(ムネ)……………	1枚
チンゲン菜……………	1束(付け合わせ用のため、お好みの野菜でOK)		
長ねぎの青い部分…	1本	ショウガ……………	適量
鶏肉……………	4枚		

みっちゃん秘伝中華風タレ材料

しょうゆ……………	大さじ5	酢……………	大さじ2
ごま油……………	大さじ2	砂糖……………	大さじ2
ゴマ……………	大さじ2	ラー油……………	大さじ1
ねぎ(みじん切り)…	大さじ2	ショウガ(みじん切り)…	大さじ1

作り方

- 1 ボールにみっちゃん秘伝中華風タレの材料を入れてよく混ぜる。
- 2 鍋に適量の水と、長ねぎの青い部分・スライスしたショウガ・チンゲン菜を入れ、中火にかける。
- 3 ②が沸騰したら鶏肉を入れ、弱火にする。
- 4 ③が沸騰したら火を止めて、鍋に蓋をして20分寝かせて鶏肉に火を通す。
- 5 鶏肉に火が通ったのを確認して、チンゲン菜と鶏肉を鍋から取り出す。
- 6 鶏肉を好みの厚さにスライスし、チンゲン菜は食べやすい大きさに切る。
- 7 ⑥をごはんと一緒にお皿に盛りつけ、お好みの量の①をかけたら完成。



みっちゃんのアレンジレシピ

みっちゃん秘伝中華風ソースは、今回紹介した鶏肉だけでなく、牛肉や豚肉にかけても美味しいです。これからの季節には、冷奴や冷やし中華のタレとしても使える万能ソース。中でもイチオシはエビの素揚げやソフトシェルクラブのタレとして使うことです！

作ってみました！

キッチンペーパーで軽く水気を取った木綿豆腐を両面ごま油で軽く焼き、ネギとショウガを少し多めに入れたタレをかけてみました。みっちゃんから紹介のあった冷奴よりはひと手間かかりますが、冷奴よりもしっかりと味がつくのでおつまみにもおすすめです。(編集部：山澤)

ALL for ONE web

バックナンバー、役員の対談、インタビュー動画、web版のみのコンテンツもあります！

利用するには事業会社別にユーザー名とパスワードが必要になります

ユーザー名・パスワードに関してはホールディングス ブランディング戦略室 山澤 (n_yamazawa@kabaya-ohayo.jp) まで

※閲覧に伴う通信費(パケット代)は利用者のご負担となります。通信費はご利用の通信会社、ご契約プランにより内容が異なりますので、詳細につきましては契約会社へお問い合わせください。

ログインページ



all-for-one-web.com

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 人事戦略室より

会社に対して質問・意見・提案をしても何もフィードバックがない、
納得できないことがある、現場にはこんな問題がある・・・等々、
会社に対する皆さんからの声をお寄せ下さい。

会社を善くしたい、働く環境を改善したい・・・等々。
「より善くしたい」という想いが前提になっているご意見であれば、
あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、
全て受け付け、対応します。

「ONE for ALL」

個の発する意志は自由。
一人の悩みは多くの仲間の悩み。
一人の意見、提案は多くの仲間を助けるもの。

「ALL for ONE」

事業は人なり。
社員という言葉で大きく括らず、一人ひとりの意志に向き合います。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 人事戦略室 担当: 佐々木
Mail: info@kabaya-ohayo.jp

ALL for ONE編集後座談会

皆さん、ALL for ONE Vol.32はいかがでしたか。3年間の想いを込めたグループ合同入社式をはじめ、今回の取材を通しての印象や、再確認できたことなどについて、編集部で振り返ってみました。

小 村 山澤さん、入社式の記事を担当して何を感じました？

山 澤 北山さんたちが「どうしても開催したい」という強い意志を以ってやり遂げたことが、まさに『私の約束』の体現だなと感じました。行動規範で言うところ「あきらめない」「思いやる」の実践ですね。

小 村 決まったのが直前なのに、あれだけの入社式を開催できたのはすごいこと。北山さんと一緒に入社式の運営を主導した小貫さん、実際にやってみてどうでした？

小 貫 いい意味でグループの皆さんを裏切りたかったし、携わった全員が同じ目的の下でやり切ったと思います。「行動規範のこれをやろう」と敢えて意識したわけではないですが、振り返ってみると、全項目を実践していました（笑）。意志を以ってやり遂げるためには行動規範の実践が必ず前提になるんだなあと感じています。

池 田 さらに、式の途中から「もっとこうしたい」「ああすればよかった」と担当者間で議論が始まり、早くも結果の検証が始まっていましたね。まさに『自分で考えて、決めて、行動し、結果を出し、検証することで卓越する』を実践し、「慣例におもねることなく、大きなうねり」につながった。

山 澤 カバヤゴルフクラブの岩間さんは、自分が「いい！」と思っ

たことを提案する「勇気」がある。

大 森 指示されたことをこなすタイプだった若手社員が岩間さんを手本に自ら提案し、それを「いいモノはいい！」で岩間さんが取り入れたことは、「育てる」「影響力」など、行動規範に基づく分かりやすい事例。この社員には、この体験を今後の成長につなげてもらいたいですね。

小 村 リンク＆リンケージの石邨さんの取材では何が印象的でしたか。

大 森 行動規範をすべて体現するかのような沖山さんの交渉を目の当たりにし、石邨さんが人を巻き込むために自身の「伝える力」不足を痛感し、経営者として意識が変わっていく経緯が良く分かりました。「沖山さんの代わりはできないが、有益な運用では何としても超えたい」というコメントには、自らの「卓越性の卓越」への強い決意が感じられました。

池 田 共通して感じたのは、リーダーが勇気を以って行動する大切さでした。

小 貫 入社式でも感じましたが作ったものを人に見せるのは勇気のいることですが、自分を信じ、とことん突き詰め、最後は勇気を以って決断するしかない。その時アンチテーゼが出され、ジンテーゼの土台ができるかもしれない。

小 村 結構勇気のいることですが、やはりその一歩が大切ですね。



投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



アンケートサイトへ

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.32

発行: 2022年6月10日
制作: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス ブランディング戦略室
東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
TEL: 03-3222-7311

NIPPON
KABAYA OHAYO
HOLDINGS
INC.

ONE for ALL

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする